

人間文化研究機構 第26回 公開講演会・シンポジウム

苦悩する中東



THE MIDDLE EAST IN DISTRESS



平成 27年 **4月25日(土)** 13:00~17:00
(開場12:30)

入場無料

会場 **早稲田大学 井深大記念ホール**

事前登録不要

詳細は下記のウェブサイトでもご覧頂けます

<http://www.ias-network.jp/>

主催



大学共同利用機関法人
人間文化研究機構



人間文化研究機構 (NIHU) プログラム
イスラーム地域研究

共催 日本中東学会・早稲田大学イスラーム地域研究機構 後援 文部科学省

苦悩する中東

主旨 中東が抱える苦悩は深く、その原因は複雑です。ISIL（アイシル）あるいはISIS（アイシス）による日本人質殺害事件は、私たちに大きな衝撃を与えるとともに、問題の深刻さを突きつけました。テレビの画面に映し出される恐怖の映像に怯えながらも、多くの人たちがISIL/ISISに関するテレビ解説に釘付けになり、中東への違和感を増幅させたに違いありません。しかし、冷静に考えてみればISIL/ISISの登場に最も苦悩しているのは、中東に暮らす人々ではないでしょうか。

中東は、長年にわたる欧米諸国の中東政策に翻弄され、不本意な課題を突き付けられてきました。欧米との関係をめぐって国々が対立し、民族や宗派間の均衡も崩れ、暴力への依存が高まってしまいました。さらに、中東は、急速に進行するグローバル化のなかで、格差の拡大、世代間の対立、ジェンダー関係の変化といった課題にも直面するなど、政治的にも社会的にも難題を抱えています。

私たちが、現地に暮らす人々に思いを馳せることなく現象面にのみ目を奪われ、場当たりの対応を続ければ、中東はさらに混迷を深めることとなります。そうなれば、パレスチナ問題の解決もISIL/ISIS問題の解決も遠退いてしまうでしょう。こうした状況を憂慮し、本講演会・シンポジウムでは、「苦悩する中東」を共通主題とし、改めて中東の国々が、そしてそこで暮らす人々が抱える問題や葛藤について考えます。



プログラム

講演1 苦悩するアラブ

酒井 啓子 千葉大学法政経学部教授

講演2 苦悩するイラン

桜井 啓子 早稲田大学国際学術院教授

講演3 苦悩するトルコ

澤江 史子 上智大学総合グローバル学部准教授

パネルディスカッション

司 会 福田 安志 早稲田大学イスラーム地域研究機構研究院教授

パネリスト 末近 浩太 立命館大学国際関係学部教授

錦田 愛子 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所准教授

ホサム・ダルウィッシュ 日本貿易振興機構アジア経済研究所研究員

酒井 啓子 千葉大学法政経学部教授

桜井 啓子 早稲田大学国際学術院教授

澤江 史子 上智大学総合グローバル学部准教授

日時 平成27年 4月25日(土) 13:00~17:00 (開場12:30)

会場 早稲田大学 井深大記念ホール

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-20-14
早稲田大学総合学術情報センター1階
※早稲田大学中央図書館と同じ場所です。

お申込み方法 ・入場無料 ・事前登録不要

問い合わせ先

早稲田大学イスラーム地域研究機構 共同研究室

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町513 早稲田大学120-4号館3階

Tel & Fax 03-5286-1749 e-mail: info@islam.waseda.ac.jp

月～金 11:00～16:00 (土日祝 閉室)

会場のご案内



交通

▶ 高田馬場駅より早大正門行きバス
西早稲田下車 徒歩3分

▶ 地下鉄東西線 早稲田駅より 徒歩10分

▶ 都電荒川線 早稲田駅より 徒歩2分